

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO (UMIE) いなみ ※SORATOいなみ			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 11 月 17日 ～ 令和 7 年 12 月 5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和 7 年 11 月 17日 ～ 令和 7 年 11 月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 12 月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士(ST)の専門的な発達援助技術(ART)をベースにした療育支援プログラムを遊びとしてコミュニケーションが取れるように支援を行っています。	ST-ARTプログラムをベースに個々にあった内容と時間を設定し、2～3人の活動から、集団療育へと段階を踏んで展開しています。	言語聴覚士(ST)による施設内研修を実施し職員のスキル向上を図り、支援に応じた教材や療育教材を個々に合わせて作成するなどを行っています。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの事業所が一体となって提供できる多機能型事業所です。未就学児から小学校の移行期である新しい環境に対し、途切れることなく寄り添った療育支援を行っています。	移行期における、本人やご家族様の緊張感や不安などに寄り添いながら新しい環境に慣れるようにサポートしています。また、就学児においては、新たな戸惑いなど気持ちが伝えられる雰囲気づくりを行っています。	個々の気持ちの変化に気付き、状況に応じてサポートすることや、担当者会議など積極的に参加しています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学してからの支援内容の周知が曖昧となっており、集団活動に必要な集団の中での聞き取り、コミュニケーションの支援や学習支援の周知が弱いと感じています。	就学後の学習支援として、宿題の時間、集団活動の時間、個別の援内容として取組む時間の調整に課題を感じています。	本人の体力面に配慮し、集団活動として無理のない内容が提供できるようにワクワクする内容を目標立て提供できるよう工夫を行っています。
2	児童発達支援をご利用のお子様において送迎ができるよう調整していますが、職員等の配置調整のため送迎の希望に応えてできない場合があります。	曜日や時間帯の調整を行い希望に添えるよう調整しておりますが、送迎時間が集中してしまう為、一部の地域では保護者様に送迎の協力をお願いしている状況となっています。	送迎依頼のニーズにおいては、継続が可能な状況を保護者様と相談し納得して頂きながら、本児の状況などにも配慮しつつ安全を優先して対応を行っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名			SORATO (UMIE) いなみ ※SORATOいなみ		公表日		令和 7 年 12 月 26 日					
					利用児童数		令和 7 年 12 月 26 日		回収数		27	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (27人)	0%	0%	0%	・屋外スペースもあれば良いと思います。 ・普段の教室以外にも広い遊べるスペースがある。 ・広く活動しやすいと思います。		・指導訓練室は基準の2倍以上の広さを確保しております。また、指導訓練室とは別に約70㎡のプレイルームも完備しています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	93% (25人)	0%	0%	7% (2人)	・いつも同じ先生で安心して利用できる。		・最低人員に加え、加配の職員も2名配置しています。担当制は取っていませんが利用者様の状況に応じ対応できる体制としています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89% (24人)	4% (1人)	0%	7% (2人)	・生活空間はこどもにも伝わりやすくなっていると思う。目で見るとすぐわかって行動できる。		・現状維持に加え、今後もお子様の状況に応じて必要な対策を順次考えて対応してまいります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93% (25人)	0%	0%	4% (1人)	・トイレに対しての不安が強かった時も本人、親と相談しながら対応していただいた。 ・清潔で心地よく過ごせるトイレも安心して行けるように補助便座も置いてあり不安なくトイレに行ける。		・支援中の換気をこまめに行うことや、支援後の玩具等の消毒も継続してまいります。また、経年劣化などによる、修繕なども行い快適に利用して頂けるように努めます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%	・職員も多く、連絡帳や送迎時のやりとりがしっかりできていると思う。 ・言葉を作る遊びやお友達との関りの中でルールを学ぶ。楽しさの中で理解に繋がっている。		・保護者のニーズを受け止め事業所のコンセプトに沿って個々の支援の提供に努めます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96% (26人)	0%	0%	4% (1人)			・概ね相違はありませんが、個々のニーズの優先度に合わせて対応しております。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）又は、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	83%	7% (2人)	0%	0%	・定期的に面談があり、内容が反映されていると思う。 ・こどもの事を十分理解したうえで計画を立てて下さっているので自分に合ったもので勉強できる。		・言語発達検査による5領域のアセスメントも活用し、日々の保護者の意見を受け、個別支援計画を作成するにあたりケース会議を行い、職員の見立てを擦り合わせて作成しています。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。また、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	7% (2人)			・5領域の中の優先度に基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目ごとに作成しております。また、今期から始まりました、専門の実施計画において、より具体的な内容を提案してまいります。			
	9	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (27人)	0%	0%	0%	・子どもに必要な課題を個別課題で取り組んでいると思う。		・個別支援計画を念頭に支援を行っており今後も継続して対応してまいります。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%	・個別だけではなく、集団活動がいつも工夫されていて楽しいようです。 ・色々なジャンルを取り入れていると思う。		・コンセプトに沿って、関連性や継続性を意識しながらワクワク出来るプログラムを提供しております。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	33% (9人)	15% (4人)	19% (5人)	33% (9人)	・現在では活動しているところを知らない。		・現在は他施設や地域の交流の機会は設けておりません。今後、必要に応じて機会があれば検討してまいります。			
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%			・見学や、体験時に継続的な利用がイメージできるような説明を行っています。また、いつでも問合せがありましたら対応いたします。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。また、「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (27人)	0%	0%	0%			・お渡しする際の説明は必ず行っております。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	96% (26人)	0%	4% (1人)	0%	・もう少し回数が多かったり、子どもを預けられると参加しやすい。		・定期的な保護者向け研修会を開催しております。保護者様のニーズに即した内容を検討してまいります。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%	・送迎時に伝えてくれます。		・随時、送迎時に等でご様子を伺い情報の共有を行っています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	85% (23人)	11% (3人)	0%	4% (1人)	・送り迎えの時によく話させてもらって必要時は相談室など落ち着いた話をしてもらえてありがたい。		・個別支援計画の更新時以外にも必要であれば、関係機関の訪問やケース会議などの開催を行っています。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (27人)	0%	0%	0%			・保護者様のご意向を伺い支援者側からの提案をさせていただく事もありますがその都度ご相談をさせていただきます。			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	66% (18人)	15% (4人)	4% (1人)	15% (4人)		・現在はきょうだい同士の交流の機会は設けておりません。今後、困りごとなどのニーズをうかがう中で、ご要望が多数ございましたら研修会などの検討を考えてまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89% (24人)	4% (1人)	0%	7% (2人)		・保護者様からの相談や申し入れについてはできる限り適切に対応させていただいております。また、ご意見箱も設置し匿名での相談も受け付けができるようにしております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%		・送迎時に活動の様子や、Instagramなどを使ってお伝えするとともに、連絡帳等も活用しております。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	89% (24人)	7% (2人)	0%	4% (1人)		・Instagramなどを利用し、大まかな行事につきましてはSNSにて発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96% (26人)	4% (1人)	0%	0%		・契約時に個人情報の取扱いについて説明を行っております。今後も個人情報の取扱いについて注意を払ってまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63% (17人)	11% (3人)	0%	26% (7人)		・各種マニュアルについては事業所内に作成し周知しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63% (17人)	4% (1人)	0%	33% (9人)		・避難計画書を元に年2回以上の避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	81% (22人)	4% (1人)	0%	15% (4人)	・外側からのカギは普通に開けることができるので不審者の侵入等少し不安はあります。	・Instagramなどで避難訓練の様子を発信しておりますが、他の周知の方法も検討してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74% (20人)	7% (2人)	0%	19% (5人)	・なったことがないので分からない。	・緊急時の連絡先をいただいておりますので、必要な場合は随時連絡、対応をしております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	93% (25人)	7% (2人)	0%	0%	・本人は小さいのでその辺りはよく分かりません。 ・安心感をもって通所しています。	・引き続き支援の質の向上に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	74% (20人)	22% (6人)	0%	4% (1人)	・参加するまでの間気持ちが変わりがち ・親と離れることや環境の変化に対応するのが苦手なので、まだ楽しみというレベルまで達していない。 ・通所を楽しみにしています。	・就学前後のお子様の心の変化に対応しつつ、意欲を引き出す工夫を行っております。お子様の居場所として楽しく通いたくなる場所として、個々にあった療育教材も作成しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	89% (24人)	11% (3人)	0%	0%	・最後の遊びタイムが息子にとっては、ご褒美タイムとなっていないので、可能な範囲でストレス発散が出来たら良い。 ・いつもありがとうございます。 ・いつもていねいに見てくださりありがとうございますこれからよろしくお願いします。	・ご意見を頂きありがとうございます。今後も創意工夫を重ね、事業所として発展できますよう尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
SORATO (UMIE) いなみ ※SORATOいなみ		令和 7 年 12 月 26 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88% (7人)	12% (1人)	・児発と放デイでプレイルームの時間を分けている。	・子ども達の活動場所が広く、職員が目配れるように配置をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88% (7人)	12% (1人)	・指定基準より人員加配もしており、個別にも対応できるように研修等スキル向上にも力を入れています。	・状況によっては個別対応が重なる場合もあり、対応時間を調整して対応しています。 ・送迎時間帯によっては保護者にご相談させて頂き、送迎協力をお願いしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88% (7人)	12% (1人)	・入口に一日の活動の流れを示し視覚的に見えるように工夫し、構造化の流れを作っています。	・開き戸による扉の開閉頻度がある為、安全に注意して利用するよう継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88% (7人)	12% (1人)	・空気清浄機や、室温計などを活用し活動に応じて空調調整を行っています。	・細かい所の掃除などに注意を払い清掃していきます。(靴箱・ロッカーなど)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	62% (5人)	38% (3人)	・利用者が静かに対応できる場所として、クールダウンする際に利用することがあります。	・集団活動時の準備物を視覚に入らない様に一時的に置く場所として活用する場合があります。 ・使う場所の目的化を明確にして、使いやすい様にしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88% (7人)	12% (1人)	・メイブル日誌を活用して、情報共有や課題の整理を行っています。	・時差出勤時の場合には振り返り内容などの共有を図るように直接伝えて時差の内容に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75% (6人)	25% (2人)	・評価表アンケート結果などは、職員回覧するなど全体に周知を行っています。	・保護者に直接アンケート結果などは、配布しておりませんが、職員間で確認を行い改善を検討いたします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75% (6人)	25% (2人)	・職員会議の場や、常時気付いた時にはミーティングなどで提案し業務改善や対応について話し合いを行うようにしています。	・業務改善など 5S (清潔・清掃・整理・整頓・鉄)を意識し職員間で対応できるように共有、検討していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75% (6人)	25% (2人)	・現時点では第三者による外部評価は行っておりませんが、内部評価などを行っており、改善に努めています。	・内部評価などを行っており、職員間で周知し改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (8人)	0%	・e-ラーニングなどの研修を導入し職員の資質向上に努めています。また、虐待研修には積極的に参加するように努めています。	・決まった研修内容だけでなく、地域の研修情報なども確認し参加できるよう努めてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (8人)	0%	・個別に結果表を紙面にしてお渡ししています。	・今後も継続し、ご意見などがありましたら検討してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100% (8人)	0%	・個別支援計画作成時に、アセスメントを行っております。また、必要であれば優先ニーズの変更を行うなどの対応を行っております。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて検討いたします。
	13	「児童発達支援計画」および「放課後等デイサービス計画」を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (8人)	0%	・担当者会議を行い最善の利益を考え作成に当たっています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて検討いたします。
	14	「児童発達支援計画」および「放課後等デイサービス計画」が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88% (7人)	12% (1人)	・個別支援計画に基づいた個別支援の内容が常に手元にあり、確認できる環境としています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて検討いたします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88% (7人)	12% (1人)	・ST-ARTプログラムや検査などの資料などを基に、個別療育や小集団療育、集団療育などから継続的に行動観察を行っています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて検討いたします。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (8人)	0%	・現状では全項目の記載はしておらず、こどもの優先度に沿った項目を分かりやすく記載しています。	・必要に応じて対応していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (8人)	0%	・担当会で会議を行い年間計画を基に月単位・週単位で決定し立案しています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて検討いたします。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (8人)	0%	・個別支援計画に基づき個別療育を提供するにあたり、前回の内容を確認できる環境を整えており、目的は同じでもアプローチに変化を付けて提供しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ「児童発達支援計画」および「放課後等デイサービス計画」を作成し、支援が行われているか。	88% (7人)	12% (1人)	・個別支援計画に基づき個別療育を提供できるよう個別課題・集団活動を工夫し提供を行っています。また、集団活動内でも個々に応じてアプローチを変えて行っています。	・似た内容のプログラムの題材になり、目的が明確になるように伝え方を工夫していく課題があります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (8人)	0%	・支援開始前に、シュミレーションを行うなど確認を行って共有を図るようにしています。	・時間差などで直接確認できない会議などでは、時差は生じますが直接伝え共有を図るようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88% (7人)	12% (1人)	・送迎時の情報なども一緒にその日の内容などを情報共有し課題や対応について振り返り改善や対策などに繋げています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (8人)	0%	・メイプル日誌を利用し、保護者へ連絡帳を当日に送付するなど、情報共有のため必要な記録に努めています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (8人)	0%	・開始前のミーティングや振り返りの中で必要な対応の一環として、共有を図ったうえで必要事項の見直しや判断が出来る機会を設けています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。(放デイのみ)	100% (8人)	0%	・4つの基本活動を取り入れバランスよく提供できるよう、プログラム内容を工夫しておりますが、優先度に沿った項目を意識しすぎている状況もある為、改善を検討していきます。	・目的が明確になるように伝え方は考えていく課題があります。
関係機関	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。(放デイのみ)	75% (6人)	25% (2人)	教材の色や、おやつなど様々な場面で自分で好きなものを選ぶよう工夫しています。	・種類が多すぎると選びにくいこともあるのである程度の量を加減した中での選択になってしまっています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (8人)	0%	・サービス管理責任者を中心に積極的に参加しています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	87% (7人)	12% (1人)	・各関係機関と連携を図っており、必要があれば予約なしで施設に訪問していただけるようお願いしております。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	28	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。(児童発達支援のみ)	100% (8人)	0%	・就学前の保護者からの相談において、関係機関との連携が必要な場合や、情報提供の為の書類の作成などを行い、情報の共有を図っております。また、必要に応じ就学前会議などにも参加しております。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	29	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。(児童発達支援のみ)	100% (8人)	0%	・就学相談案内や入学予定の学校との必要時には情報共有を行っています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	30	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100% (8人)	0%	・学校や、ご家族様からの情報共有を行い、SSTなどのプログラムに反映させるなどの工夫を行っています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。(放課後デイのみ)	100% (8人)	0%	・児童発達支援事業所から直接、または状況に応じて保護者と一緒に情報共有を行う場合もあります。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	33	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。(放デイのみ)	100% (8人)	0%	・保護者からの希望に応じ対応しています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
		(34～35は、センターのみ回答)				

や 保 護 者 と の 連 携	34	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	(36は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	25% (2人)	75% (6人)	・保護者を通して連携を取る事もございますがスーパーバイズの機会はございませんでした。	・機会があれば、スーパーバイズを受けていきたいと考えています。
	37	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25% (2人)	75% (6人)	・積極的な交流は行っていません。	・今後災害時などの取り組みなどを踏まえ必要に応じ、検討してまいります。
	38	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25% (2人)	75% (6人)	・保護者からの希望に応じ対応しています。	・機会があれば情報共有など連携を図ってまいりたいと考えています。
	39	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	75% (6人)	25% (2人)	・自立支援協議会の時間を調整し参加するようにしています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	40	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88% (7人)	12% (1人)	・送迎時などに保護者の意向について何うなど話しやすい環境を心掛けております。また、研修等で子どもの発達状況の見立てについて意識向上を図り、共有認識が出来るように話し合いを行っています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100% (8人)	0%	・ご家族様に支援の話や、保護者向けの研修等の案内を行っております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	42	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (8人)	0%	・いつでも保護者が手に届くところ設置していると共に、変更時、契約時にはお伝えし同意を頂くようにしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	43	「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75% (6人)	25% (2人)	・個別支援計画を作成するにあたり、担当者会議を行い子どもの最善の利益を考え作成に当たっています。また、保護者の同意を頂きます時には出来るだけ子どもの様子も見て頂いています。	・現状の取り組みを継続していきますが、必要に応じて改善を検討いたします。
	44	「児童発達支援計画」または、「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (8人)	0%	・原案にて児童発達支援計画書について説明の上、同意を頂いております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	45	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8人)	0%	・送迎時などに保護者の意向について何うなど相談しやすい環境を心掛けております。また、直ぐに返答できない件については、後日職員間で話し合った結果をお伝えしております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	46	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75% (6人)	25% (2人)	・保護者研修会を開催し交流する機会を設けております。	・現状の取り組みを継続していきますが、保護者の要望があれば改善を検討いたします。
	47	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (8人)	0%	・鍵付きの意見箱を玄関口に設置しており、担当者が管理しております。また、苦情等におきましては速やかに対応させていただいております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	48	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (8人)	0%	・Instagramなどを活用し、活動内容や長期休みなどの連絡などを配信しております。 ・言語発達検査におきましては、HPなどを活用し予約確認を行っております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	49	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88% (7人)	12% (1人)	・契約時に説明し、同意を頂いておりますが内容によっては、その都度同意を頂き対応しております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	50	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (8人)	0%	・連絡帳、メール、カードなど様々な方法を使って対応しております。	・現状の取り組みを継続していきます。
	51	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25% (2人)	75% (6人)	・事業所の行事において、地域交流の場の企画は考えておりません。	・災害時等避難訓練などの課題から検討する課題と考えております。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	62% (5人)	38% (3人)	・各種マニュアルは、いつでも確認できる環境を作っております。年に2回は避難訓練に参加し避難経路の確認を行っています。	・マニュアルは紙面等で確認しているが、避難訓練のための実施回数は増やす検討を行います。

非常時等の対応	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75% (6人)	25% (2人)	・業務継続計画（BCP）の策定しており、年2回以上の避難訓練等や実践訓練なども行っておりま す。	・避難の具体的な準備が足りないと感じている 為、持ち出す物、屋外に出た後の確認を行って いきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (8人)	0%	・見学対応時の受付の段階で保護者の許す限り事 前に情報を頂くようにしています。また、実際に 利用する時にはアセスメントでお薬情報等を伺っ ています。	・服薬や予防接種等について処方箋をコピーさせ て頂いています。またその都度状況が変わるたび に確認させていただいていますが、時差が生じる 場合もあります。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (8人)	0%	・見学対応時の受付の段階からアレルギーの確認 は行っています。利用者のアレルギーや持病等、 ミーティングの際に職員間で共有させていただい ております。	・家族からの聞き取りを十分行い、医師の診断書 までは求めておりません。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	62% (5人)	38% (3人)	・合同の訓練以外にも企画し、取り組んでおりま す。	・教室内の子どもたちへの安全については、十分 に配慮しているが安全管理のための訓練の機会 は少ないため、訓練の機会を増やす検討をしてま います。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	62% (5人)	38% (3人)	・計画に災害時の対応について記載し説明を 行っております。	・緊急時の連絡先は1年に1回見直しをするよう、 アセスメント時に確認し更新していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	62% (5人)	38% (3人)	・メイブル日誌において、記載事項の保管を行い 職員間でもミーティング時に振り返り再発防止に 努めています。	・メイブル日誌において電子保管の為、その都度 担当者には記録に残していただいています。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (8人)	0%	・虐待防止の外部研修等にも参加するようにして います。また、社内で事例検討などの話し合いを 行っています。	・虐待防止研修や委員会の開催を継続いたしま す。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、「児童発達支援計画」および「放課後等デイサービス計画」に記載しているか。	100% (8人)	0%	・計画に身体拘束についての記載し保護者に説明 を行い、虐待防止委員会も毎月開催しています。	・現状の取り組みを継続していきます。